令和4(2022)年度		年間授業計画		
教科・科目	芸術	美術Ⅱ	2 単位	
対象学年・組	2年生		必修選択	
教科書 (出版社)	高校生の美術2(日本文教出版)	副教材等	なし	
学習目標	美術・工芸の創造活動を通じて、美的感覚をより豊かにし、表現と鑑賞の能力をより伸ばすとともに、芸術を愛好する心情を高める。 ものづくりを通して多くの経験をし、場面に応じて対応できる柔軟な思考をもつ。			
学期	予定 時数	単元	指導内容	具体的な指導目標
1	前半	オリエンテーション 絵画	・オリエンテーション ・ワークシート ・想像画	○年間の制作の流れを確認 ○文章から想像したことを絵で表現し、構図について学ぶ ○色や形について考える ○モチーフを精密に描写する力をつける
	後半	デザイン	・ナショナルチームのユニフォームデザイン	○日本の意匠について ○伝統文様・伝統色について ○さまざまな道具の使い方 ○作品を展示・鑑賞し、制作を振り返る
2	前半	鑑賞	・DVD ・対話を重視した鑑賞 ・アートカード ・ファシリテーター体験	○作品・作者の知識を広げる。 ○観察力・思考力を養う。 ○DVDとワークシートを使用し、作品や作家への理解を深める ○擬人化の効果について
	後半	絵画・デザイン	・切り絵	○ 道具の使い方 ①「切り絵とは」 ②アイディアスケッチ ③下図制作 ④転写 ⑤切断 ⑥仕上げ・額装
3	18	鑑賞 他	・プロデューサー体験 ・クラス全員にプレゼンテーションを行う	○好きな作家について調べ、その人物をプロデュースする方法を考える ○世の中の流れも汲み取り、自分の好きな方法で制作する
評価の観点 (評価基準)	・主体的に授業に参加し、表現と鑑賞の能力を伸ばせたか。 ・各単元の目標を達成したか、さらに表現を追求できたか。客観的に自己評価できたか。			
評価の方法	出席状況・授業態度・ワークシートの内容・課題の完成度・計画性とその達成状況・試行錯誤の経過等			
学習の手引き	・学習に使用する道具(文房具から工具まで)を正しく安全に使えること。 ・自分の作品を大切にすること。毎時間新しい技術を身につけ、発見のある教科です。 ・試行錯誤する体験を数多く行います。忍耐と努力から傑作を生み出す喜びを味わいましょう。 ・提出期限を厳守すること。毎時間の進度に注意し、密度ある作品にしよう。			
授業担当者	森田真理子			